

設置工事業者様用 【重要】



設置工事要領書

（取扱説明書別途添付）

製品型式

KJO-800AH-B

KJO-2000AH-B

KJO-2000AEX-B

KJO-3500AH-B

KJO-3500AEX-B

KJO-5500AH-B

KJO-5500AEX-B

●必ず内容を確認してから施工をおこなってください。

はじめに

この設置工事要領書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って施工してください。

●配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従ってください。

●安全にお使いいただくために必ずお守りください。



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 設置は、本書に従い確実に行ってください。設置が不完全な場合、感電・火災・けが・水漏れの恐れがあります。
- 本体を、押入れ、物置等の密閉された場所や、燃えやすいものが近くにある場所に設置しないでください。火災の恐れがあります。
- 配線工事は、関連する法令規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。接続が不完全な場合、火災の恐れがあります。
- 本体は、地盤強度を確認の上、本書に従い必ず水平に設置してください。設置が不完全な場合、火災・けが・水漏れの恐れがあります。
- アース工事は本書に基づき確実に行ってください。法令により D 種接地工事が義務づけられています。アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。
- 電源は本書に従い専用回路にてご用意ください。電気容量が足りなかったり、他の器具とのタコ足配線の場合、過熱により火災の恐れがあります。
- 電源コードを途中で切断または延長したり傷をつけたりしないでください。感電・火災の恐れがあります。
- 電源端子・電源コードは必ず確実に接続してください。緩みがある場合過熱による火災の恐れがあります。
- 本体の改造・分解はしないでください。故障・感電・火災の恐れがあります。
- ノズルカバーを必ず取り付けてください。吸込み口より髪の毛が吸引される恐れがあります。
- 浴室内への設置は避けてください。感電の恐れがあります。常時高い湿度に晒される場所は故障の原因となることがあります。



- 温泉で使用する場合は、成分表を確認提示してください。
- 井水を使用する場合は、鉄分・カルシウム分等のスケール因子の物質を除去してください。
- 電気伝導率が低くなる高純度ろ過水(純水等)を使用する場合は、安全装置が働かない場合があり空焚き運転による火災事故につながる恐れがあります。ご使用する場合は別途ご相談ください。
- ガス配管およびガス機器の移設をする場合は、必ず最寄りのガス会社に連絡の上、専門業者にご相談してください。
- 工事の際に出る切り粉等、浴槽に傷を付ける恐れがある場合は、保護材にて養生してください。
- KJO-800AH-B をユニック車で搬入した際吊り降ろしはしないでください。外板が歪む原因となることがあります。

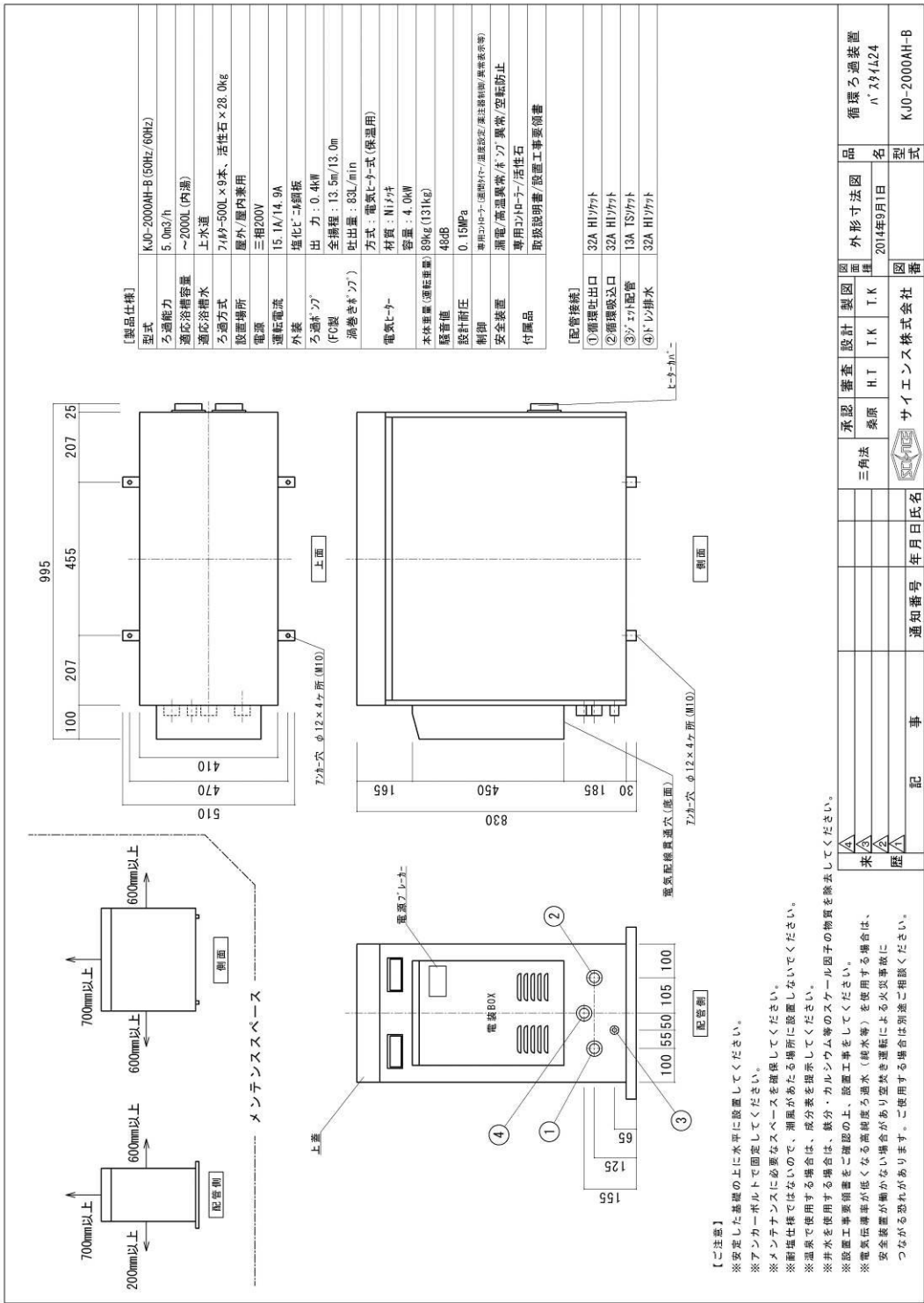
目 次

1	本体図面	1～15
2	本体付属品	16
3	基本系統図	17～23
4	設置工事における注意事項	24～25
5	設置場所の選定	26
6	本体据付工事	27
7	ノズル取付工事	28～29
8	配管工事・保温工事	30
9	電源工事	31
10	コントローラー取付工事	32
11	薬注ユニット取付工事	33～35
12	試運転調整	36
13	試運転チェックシート	37

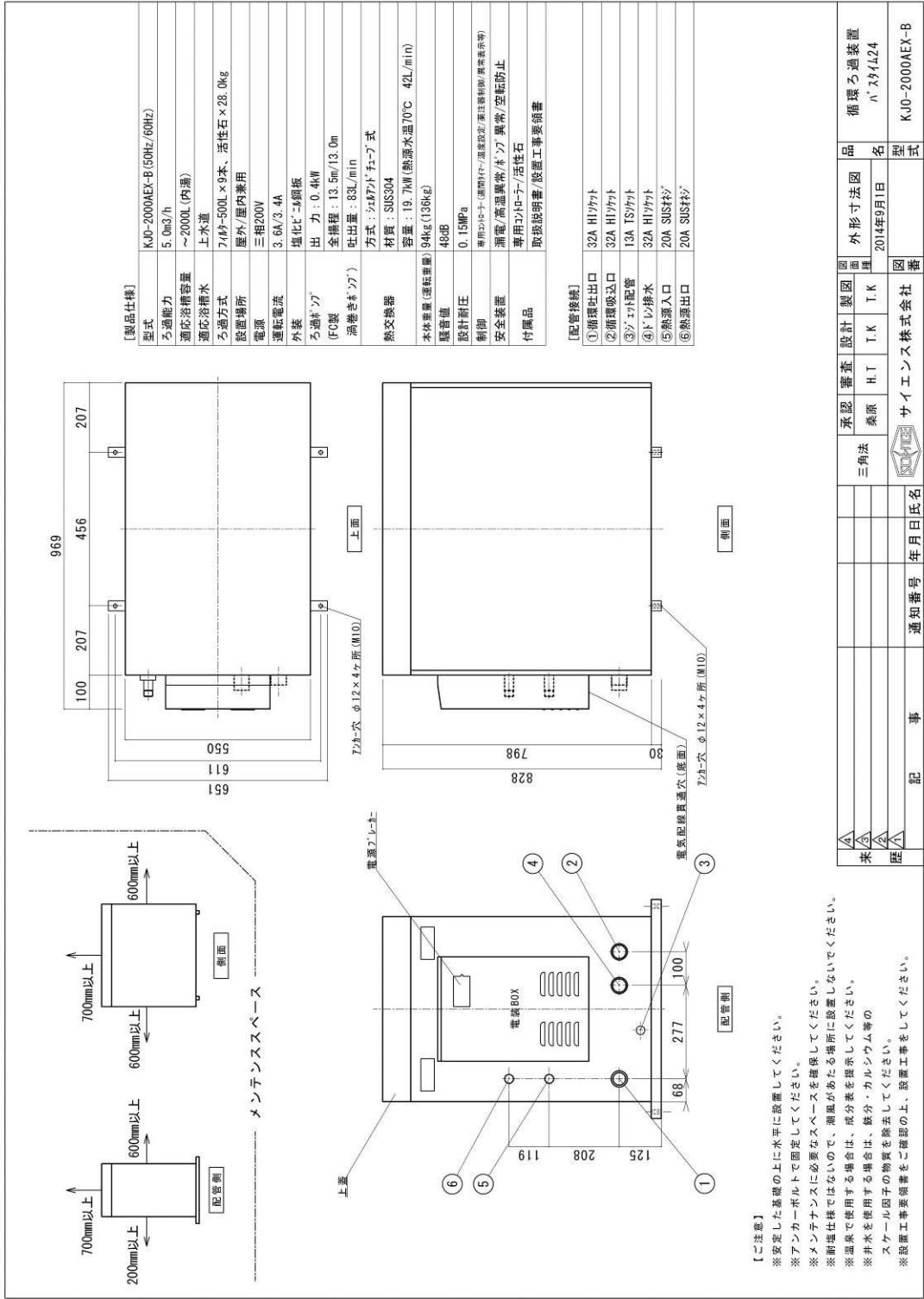
■外形寸法図(KJO-800AH-B)



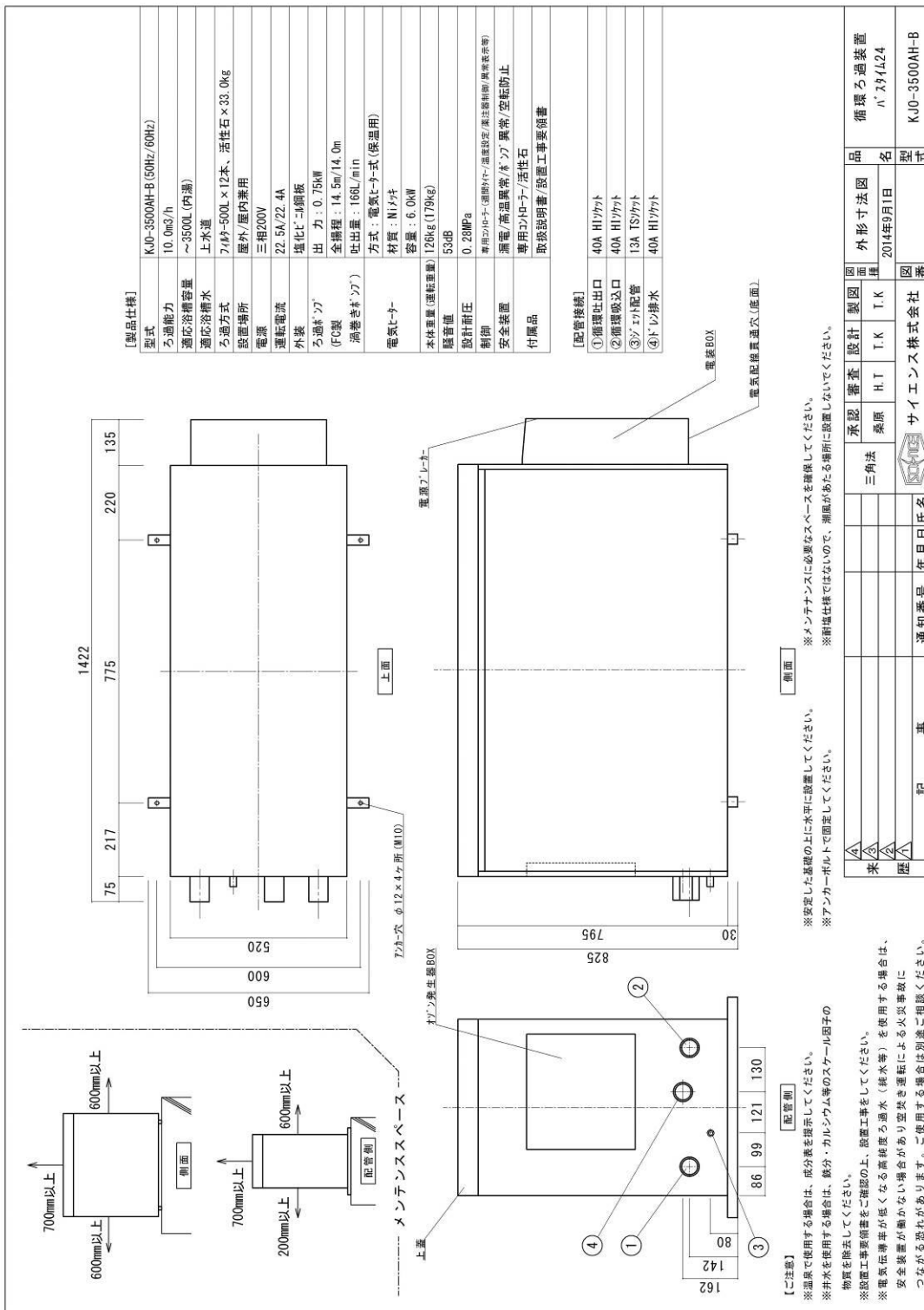
■外形寸法図(KJO-2000AH-B)



■外形寸法図(KJO-2000AEX-B)



■外形寸法図(KJO-3500AH-B)



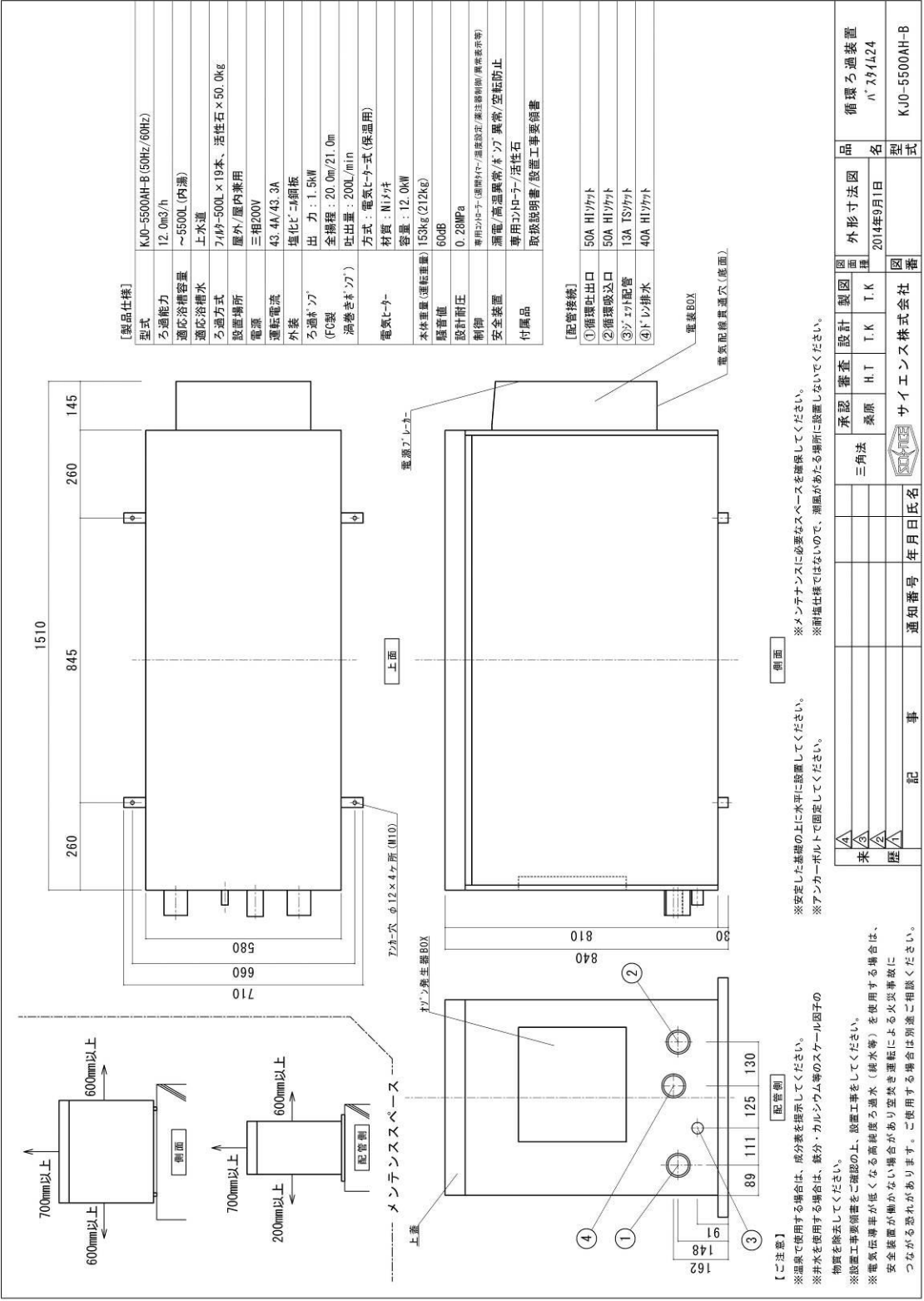
5



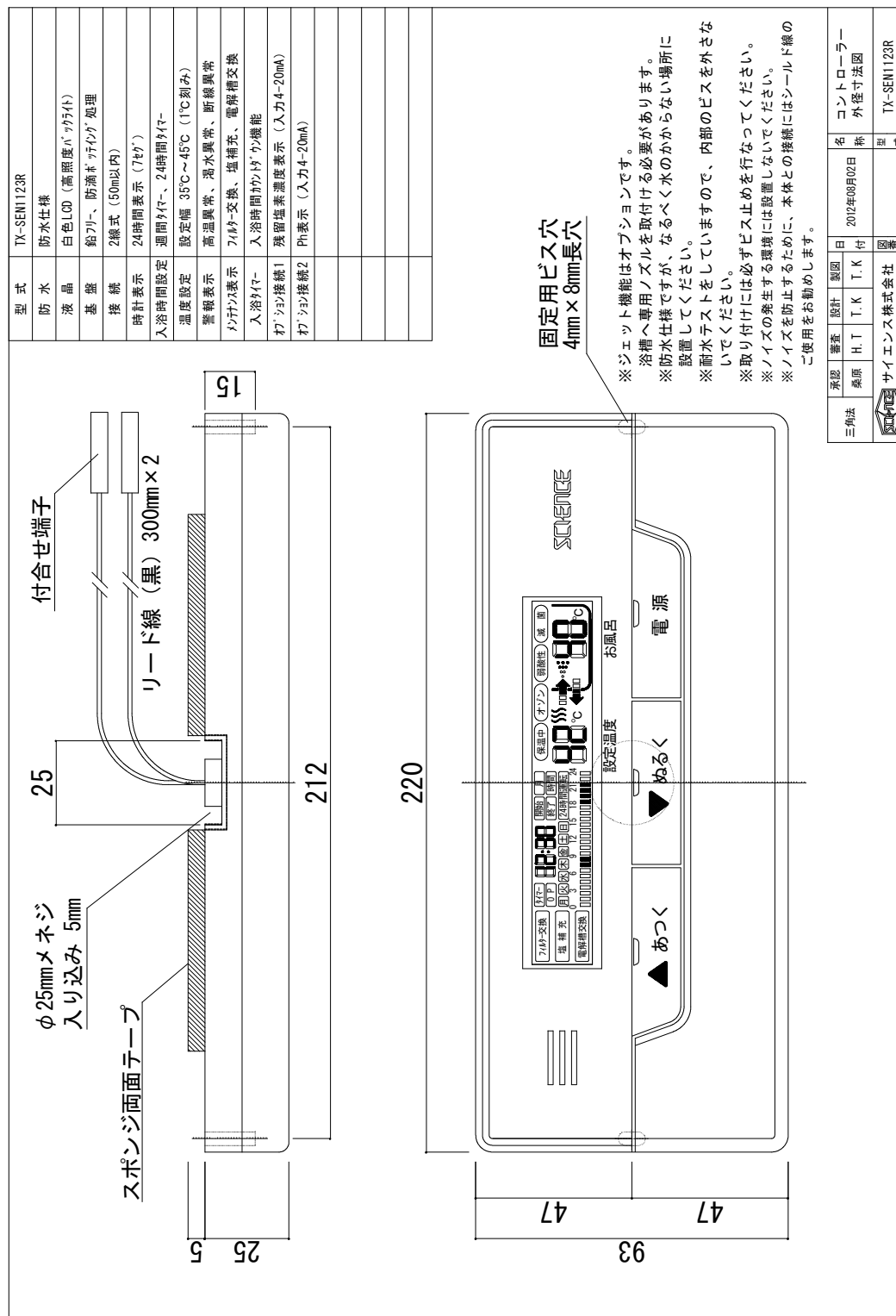
※メメントナンスに必要なスペースを確保してください。

[illegible]

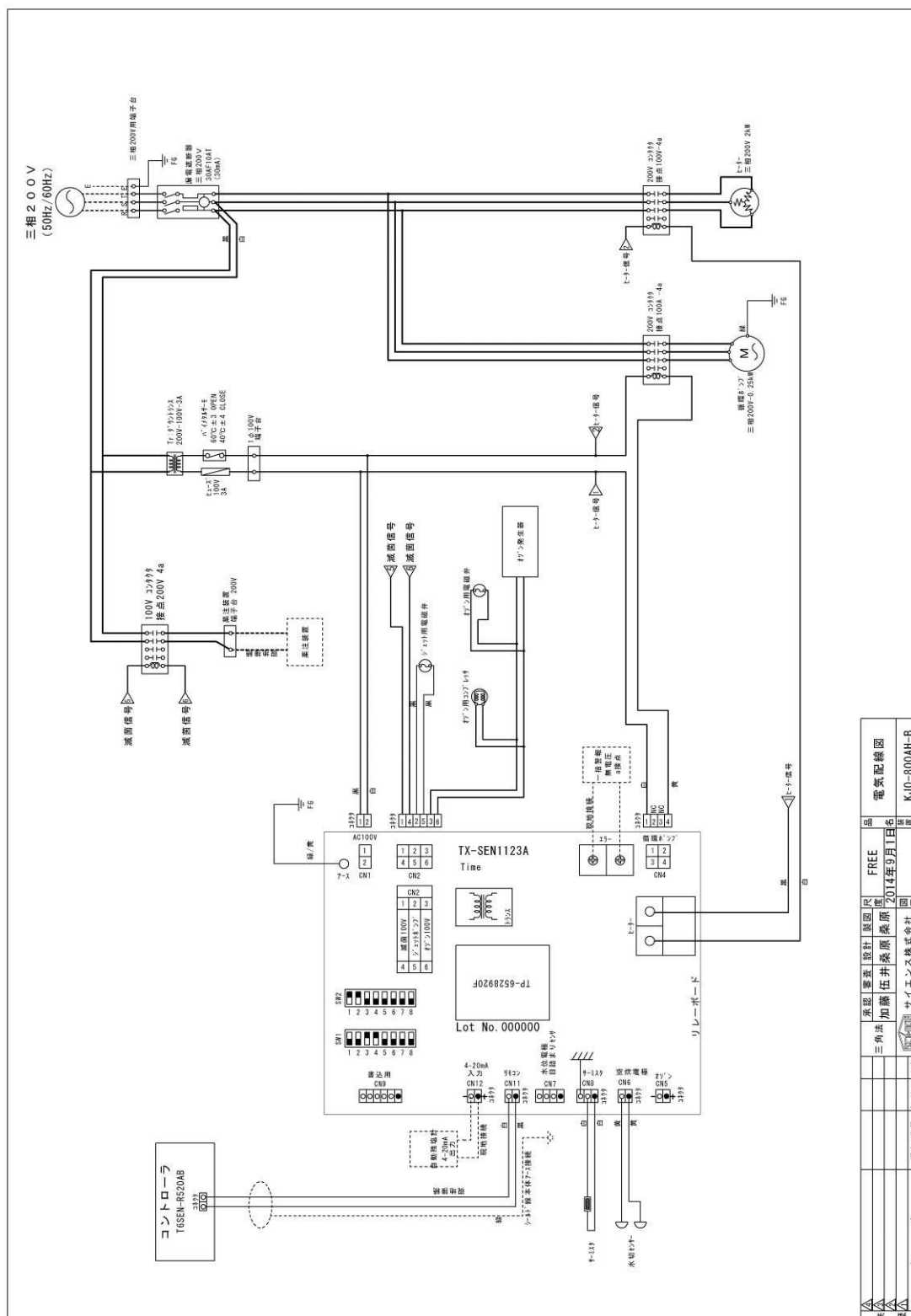
■外形寸法図(KJO-5500AH-B)



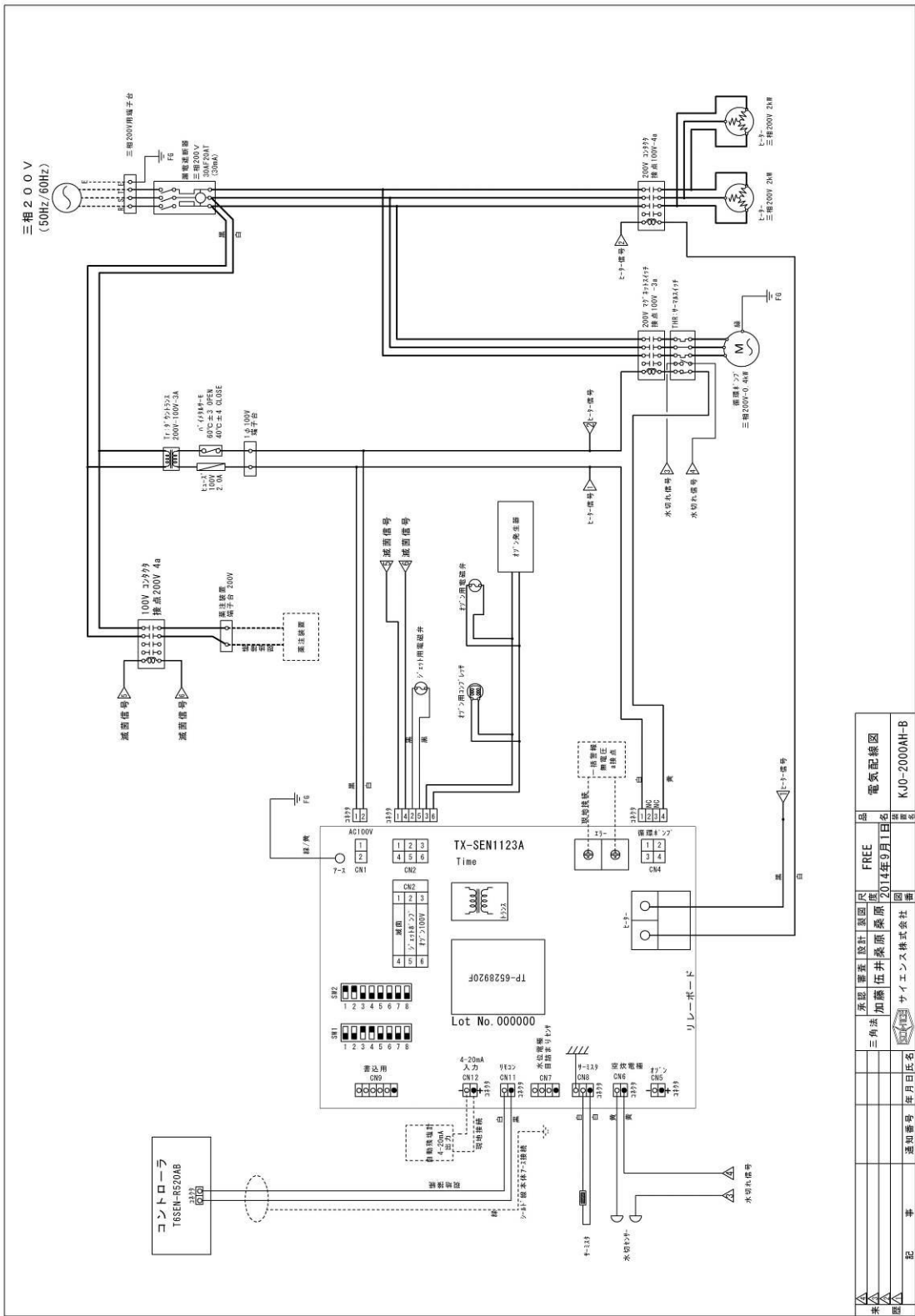
■外形寸法図(コントローラ)



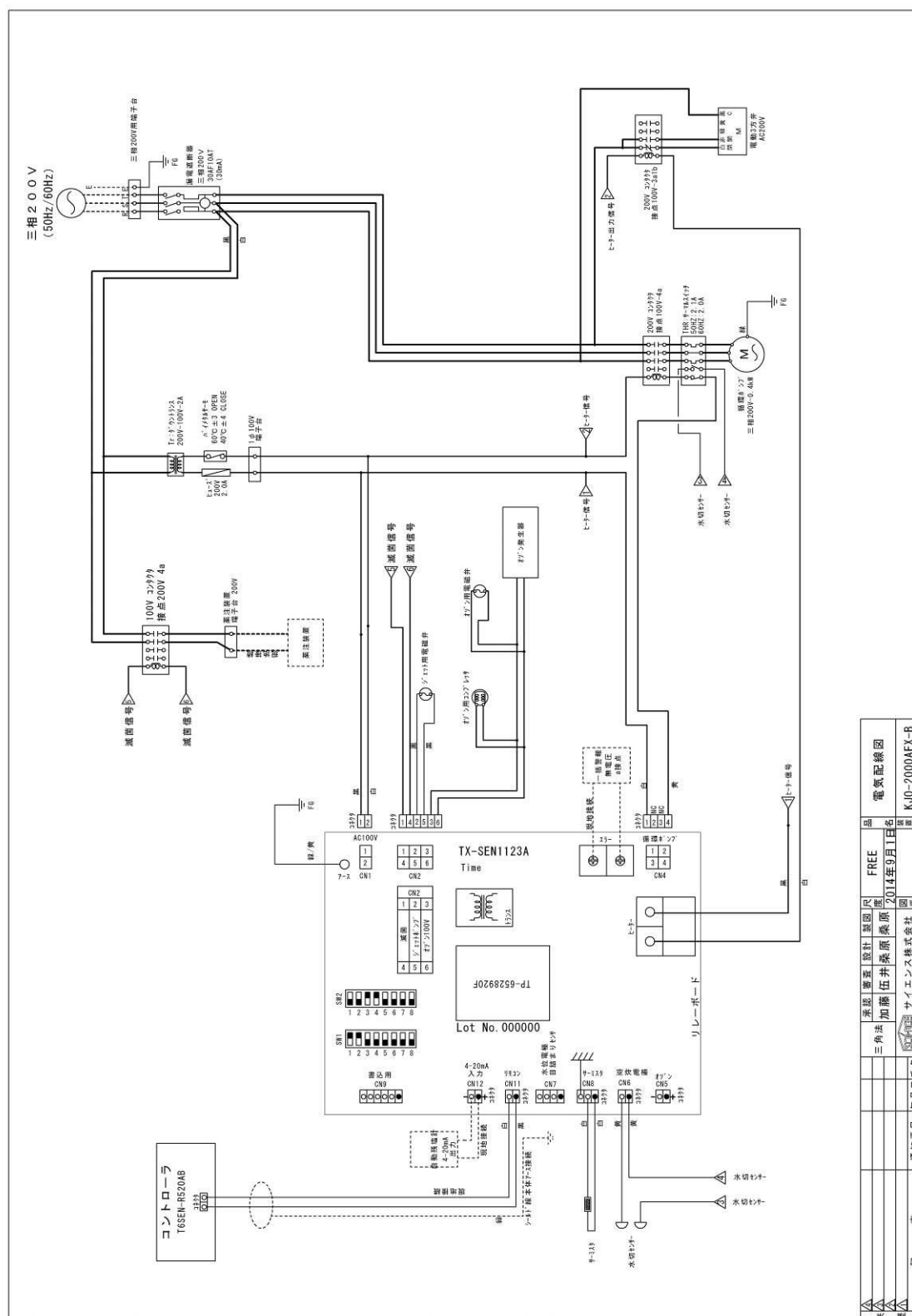
■電気配線図(KJO-800AH-B)



■電気配線図(KJO-2000AH-B)

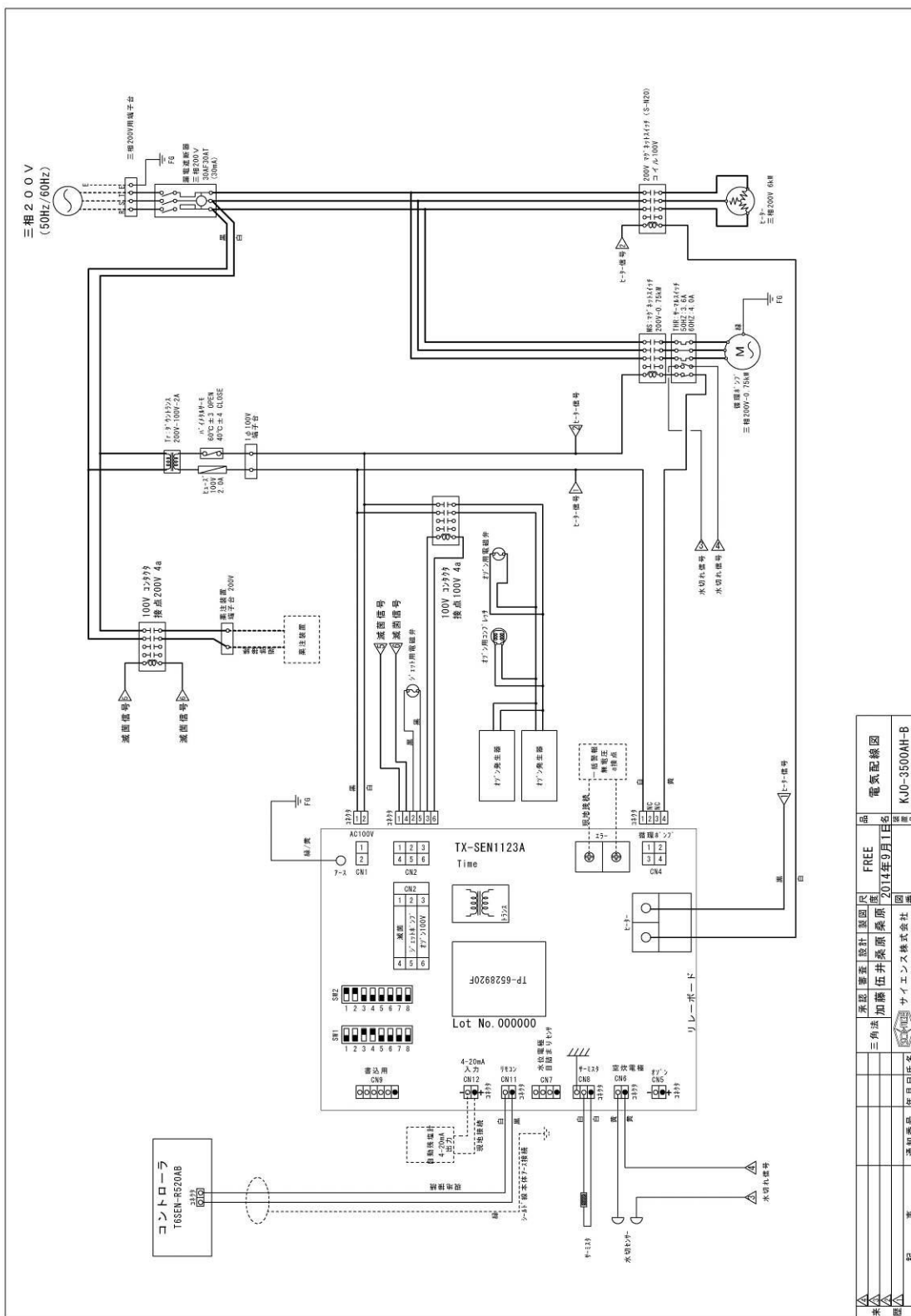


■電気配線図 (KJO-2000AEX-B)

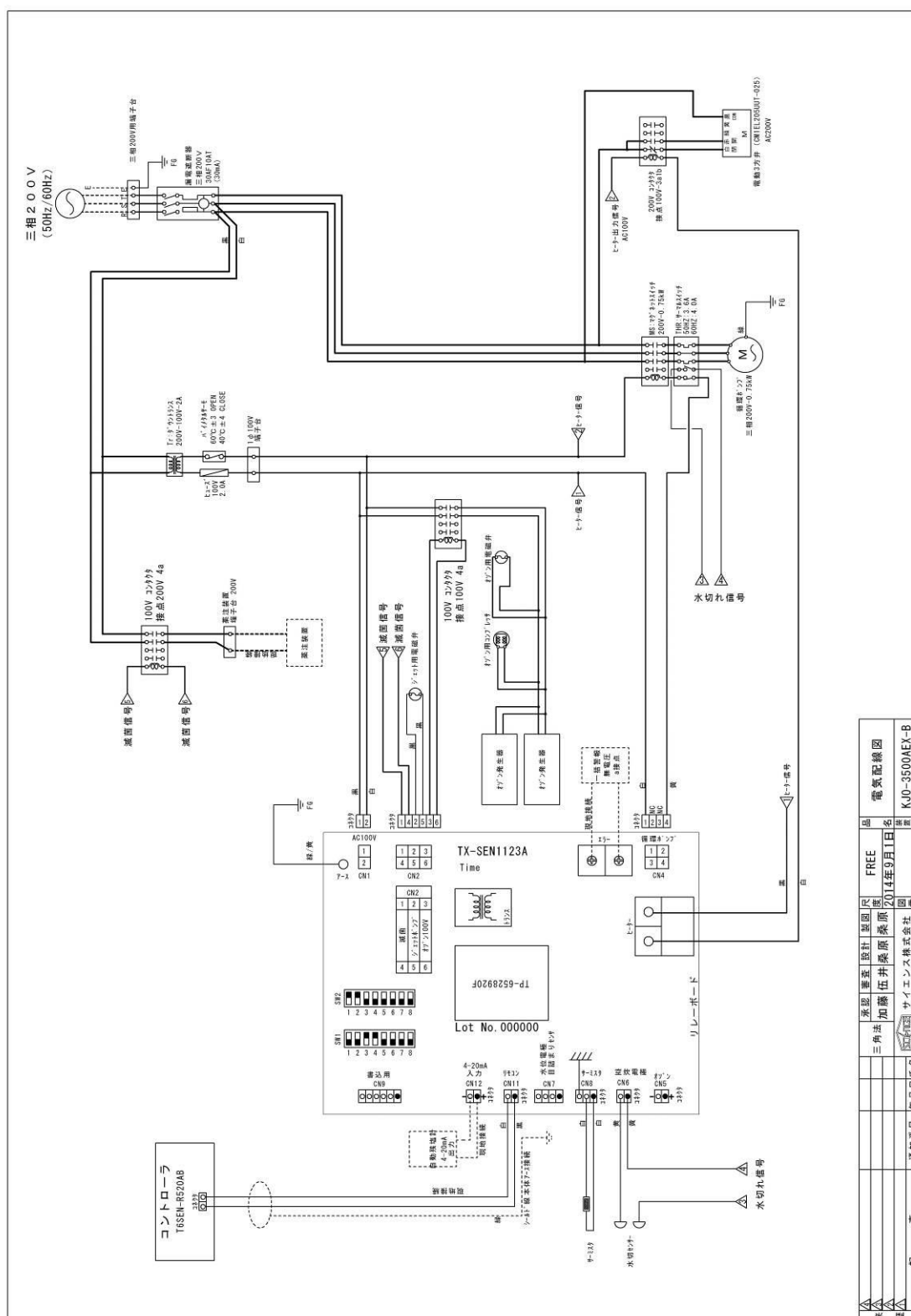


品名	電気配線図
品番	KJO-2000AEX-B
承認	加藤 佐井 承認
設計	加藤 佐井 設計
型番	2014年9月1日
製造	サイエンス株式会社
年月日	2014年9月1日
通知番号	
記号	

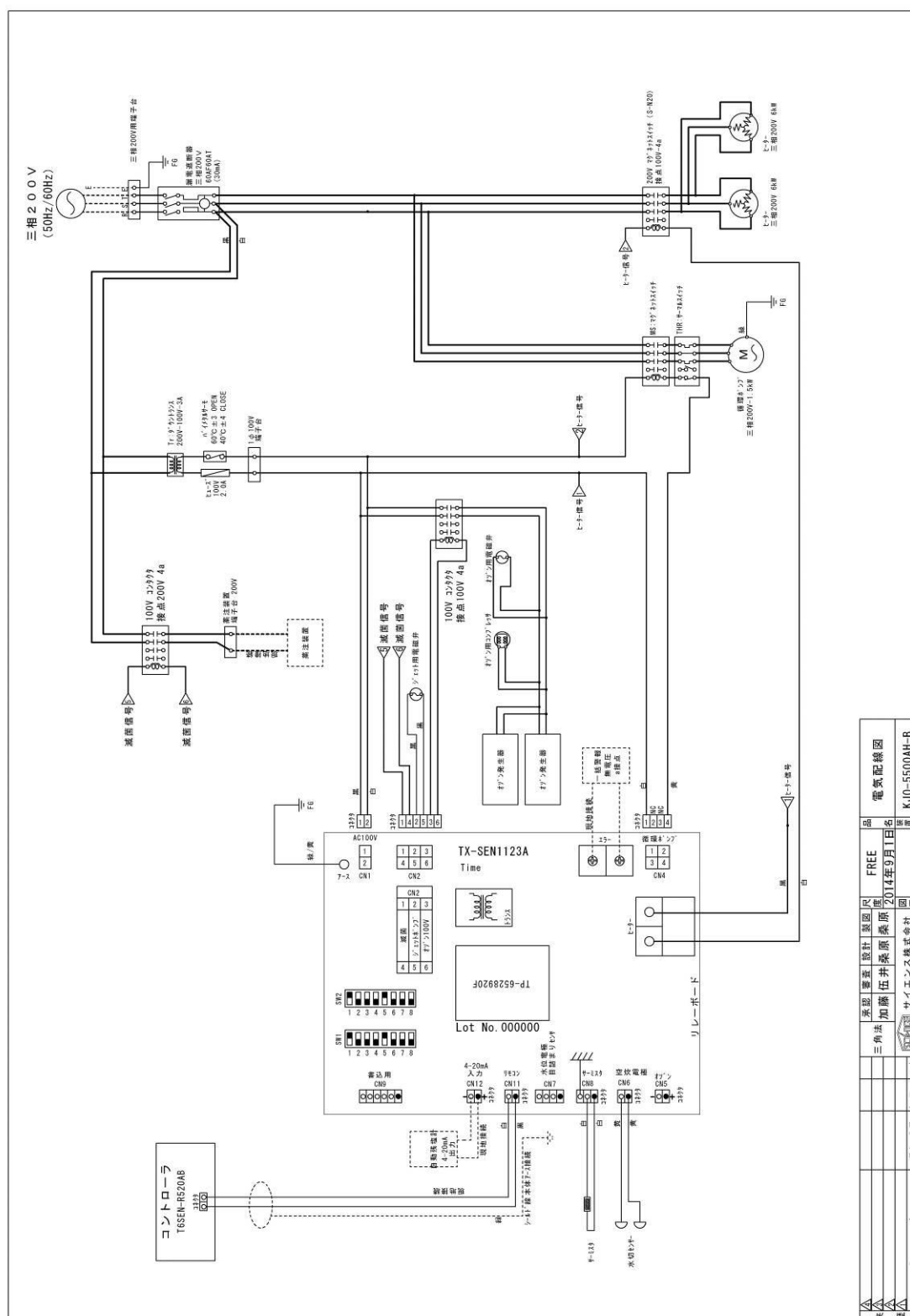
■電気配線図(KJO-3500AH-B)



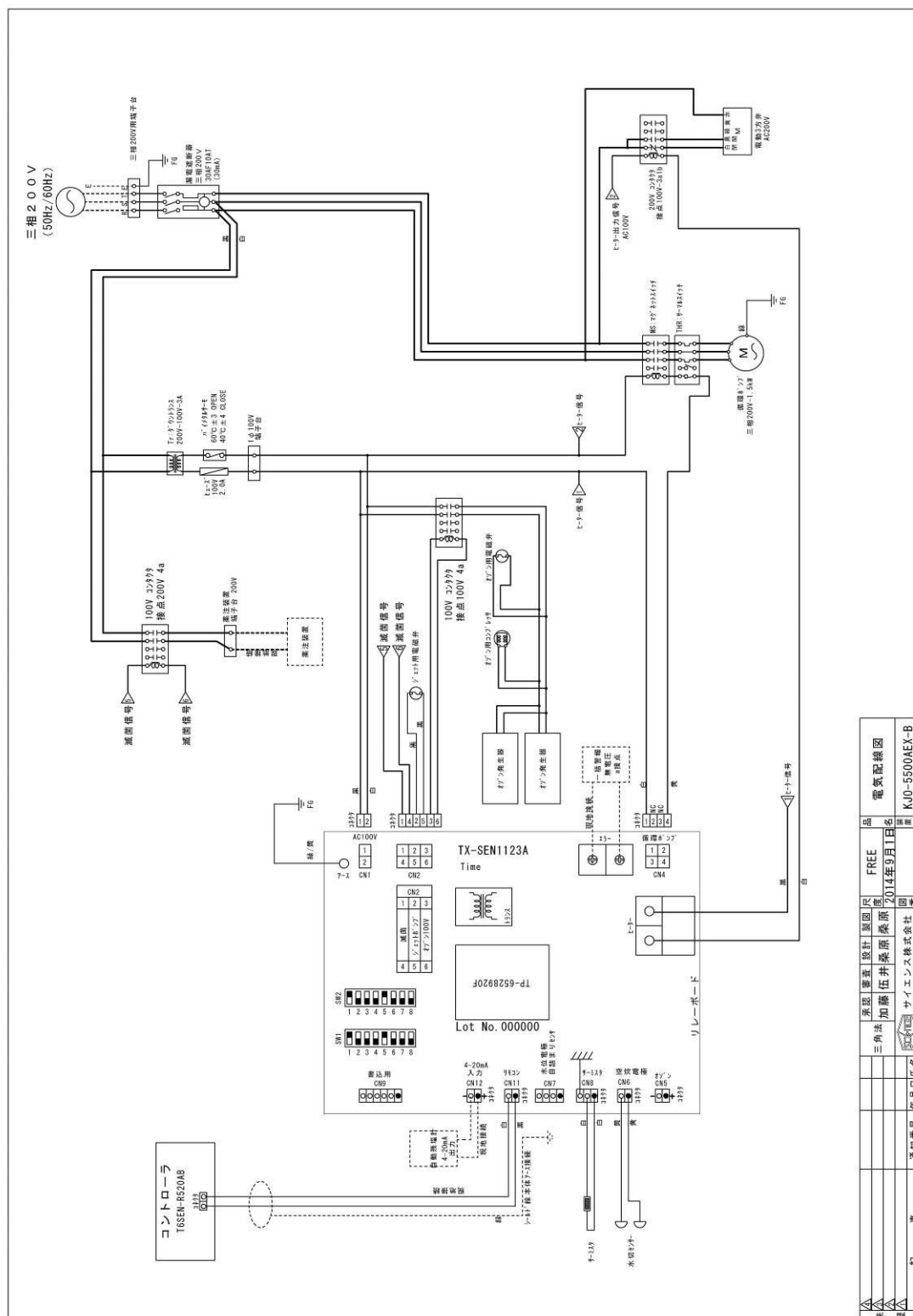
■電氣配線図(KJO-3500AEX-B)



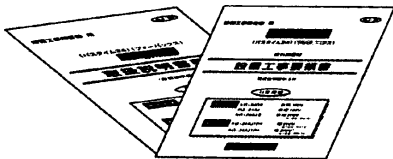
■電気配線図(KJO-5500AH-B)



■電氣配線図(KJO-5500AEX-B)



2. 本体付属品

付 属 品 一 覧 表		
1		コントローラー (取付ビスアンカープラグ 2ヶ)
2		取扱説明書・保証書 設置工事要領書
3		活性炭 KJO-800A 2 袋 KJO-2000A 3 袋 KJO-3500A 4 袋 KJO-5500A 6 袋 (別梱包)

※ジェット機能はオプションノズル(別売品)との組み合わせで使用可能です。

■基本系統図(KJO-2000AH-B)

[illegible]

■基本系統図(KJO-2000AEX-B)

[illegible]

■基本系統図(KJO-3500AH-B)

[illegible]

■基本系統図(KJO-3500AEX-B)

[illegible]

■基本系統図(KJO-5500AH-B)

【機器表】

記号	機器仕様	電圧	台数	備考	
HF-1	物理浄化ろ過装置 型式: KJ0-5500H-B 屋外/屋内設置兼用 耐圧0.28MPa未満 ろ過能力: 12,000t/h ろ過圧力: 2.0MPa 寸法: 20,000×1,500×1,500 (mm) 重量: 1,500kg 材質: PP/ABS-500×10本・活性炭0.0kg 付属: 200V専用電源 電気一式 (標準用): 12kW 制御: 1/20V 温度設定: 選別器・薬注制御 (電器制御)・各種安全装置他	3 200	13.7kW	1	

【金物表】

名 称	規格	数量
側面社金物	50A (防水面付き)	2
底面社金物	50A (防水面付き)	2
側面水位計用金物	50A (防水面付き)	1
排水口	排水口	1
排水金物	排水金物	1

【金物の個数・形状・取付位置は添付図面に必ず記載してください。】

【備考】

- ※1 ろ過装置設置 (選別器) が汚水として汚水の場合は必ず併設
- ※2 配管系統は水抜き可能な構造にしてください
- ※3 排水口は排水口 (注入口) は異径-Y (16A) に16A配管 (パイプ) なし ※金物 (金物) に取付
- ※4 排水口は毎日清掃のため、排水しやすい場所には必ず16Aの設置を要
- ※5 ろ過装置停止時などに吐出配管で7層よりが懸念される場合は、吐出高係数上に自動で排水弁を取付

【凡例】

記号	種類
HF-1	ろ過装置設置 (注)
HF-1	ろ過装置設置 (選)
HF-1	排水装置設置 (注)
HF-1	排水装置設置 (選)
HF-1	排水口
HF-1	排水金物
HF-1	排水金物 (排水口)
HF-1	排水金物 (排水口)
HF-1	排水金物 (排水口)

【配管図】

この図は、ろ過装置の配管図を示しています。図には、ろ過装置 (HF-1) の内部構造、排水口、排水金物、排水金物 (排水口) などの部品が示されています。また、ろ過装置の設置位置、排水口、排水金物、排水金物 (排水口) の設置位置も示されています。

【変更履歴】

日付	内容	作成	承認
1			
2			
3			

【仕様】

項目	仕様
型式	KJ0-5500H-B
ろ過能力	12,000t/h
ろ過圧力	2.0MPa
寸法	20,000×1,500×1,500 (mm)
重量	1,500kg
材質	PP/ABS-500×10本・活性炭0.0kg
付属	200V専用電源
電気一式 (標準用)	12kW
制御	1/20V
温度設定	選別器・薬注制御 (電器制御)・各種安全装置他

【お問い合わせ】

お問い合わせは、下記までお願いいたします。

お問い合わせ先: サイエンス株式会社

お問い合わせ先: サイエンス株式会社

■基本系統図(KJO-5500AEX-B)

[illegible]

4. 設置工事における注意事項

【浴槽・機種を選定】

- 該当浴槽容量は機種によって異なりますので、あらかじめ確認してください。

【ノズルの選定】

- ノズル(循環金物)は、本書が指定するものを必ず選定してください。

【配管工事】

- ※ P30を参照ください。

【電気工事】

- 現地調査の段階で、電源の有無を確認してください。
P17～23を参照ください。
 - ・H仕様機種(3φ200V、8.5A～43.4A)
 - ・EX仕様機種(3φ200V、3.4A～8.7A)
- ※ **100Vはオプションの有無によって必要。**
- ※ 既存の電源を使用する場合は、容量不足により分電盤のブレーカーが落ちる場合があります。
その場合、ブレーカーを定格電流の大きいものに変更してください。

【アース工事】

- D種接地工事(アース)を必ず行ってください。

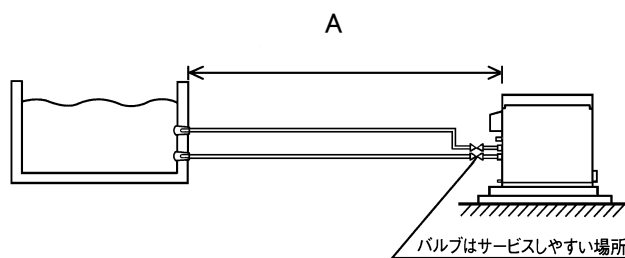
【その他の注意事項】

- 他の機器との接続および改造は、絶対に行わないでください。
- 付属品は、所定の位置に必ず取り付けてください。
- 設置工事要領書と異なる施工に関しては、保証期間中でも保証しかねる場合があります。
- 温泉で使用する場合は、成分表を提示してください。
- 井水を使用する場合は、鉄分・カルシウム等のスケール因子の物質を除去してください。
- 電気伝導率が低くなる高純度ろ過水(純水等)を使用する場合は、安全装置が働かない場合があります。
空焚き運転による火災事故につながる恐れがあります。ご使用する場合は別途ご相談ください。

① 配管の長さは下記以内としてください。

※ オプションノズルを使用した場合、ジェット
エア配管にジェット用逆止弁を取り付
けください。

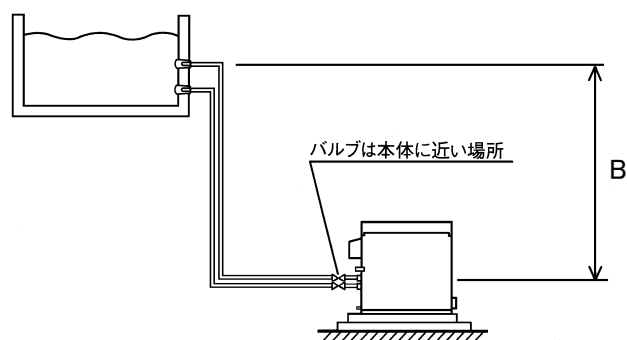
機種	A
KJO-800AH-B	10m
KJO-2000AH-B	12m
KJO-3500AH-B	15m
KJO-5500AH-B	15m



② 本体が浴槽より低い場合は、浴槽側の吐
出ノズルと本体側の吸込の高低差が下記
以内となるようにしてください。

※ ジェット用逆止弁は、メンテナンスが可能
な位置に取り付けてください。

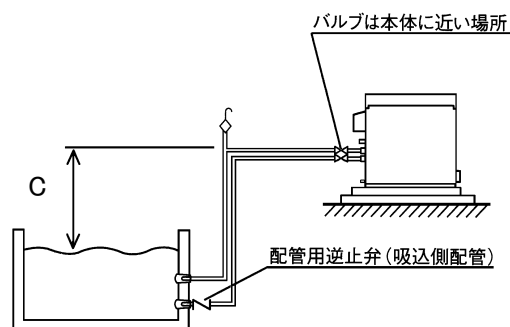
機種	B
KJO-800AH-B	2.5m
KJO-2000AH-B	3m
KJO-3500AH-B	3m
KJO-5500AH-B	3m



③ 本体が浴槽より高い場合は、本体側の吐
出と浴水面の高低差が下記以内となるよ
うにしてください。

※ 吸込配管の浴槽に近い位置でメンテナ
ンスができるように配管用逆止弁を取り付
けてください。配管用逆止弁にはスイング
式を使用してください。

機種	C
KJO-800AH-B	1m
KJO-2000AH-B	2m
KJO-3500AH-B	2m
KJO-5500AH-B	2m

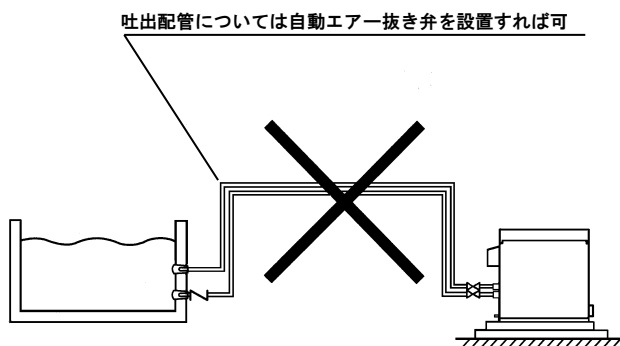


④ 鳥居配管は避けてください。

※ エアーだまり等で循環不良の原因となりま
す。

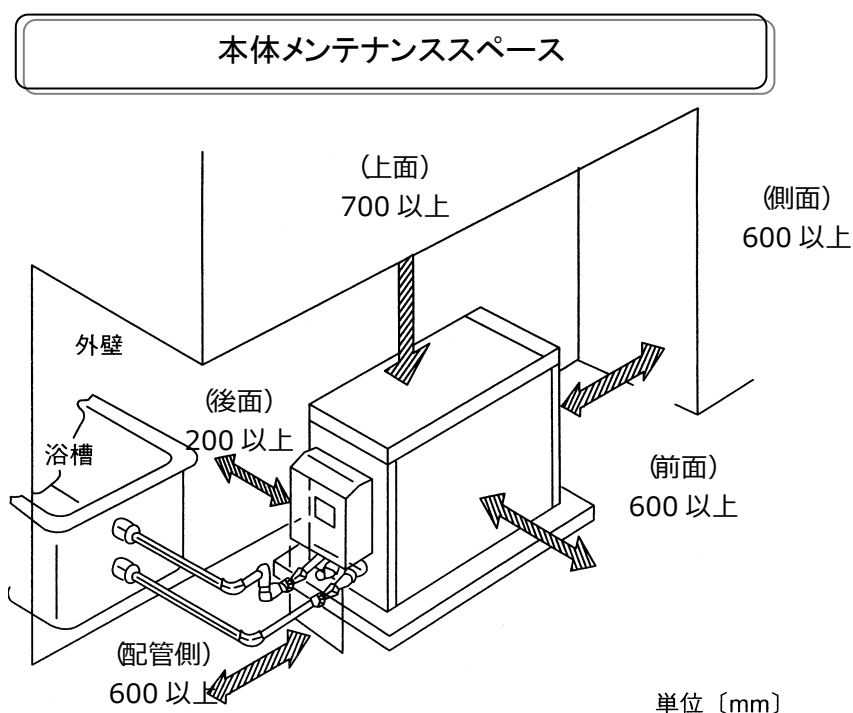
⑤ オゾン殺菌時(毎時 10 分間)にオゾンエアが発生するため、吐出配管にエア
がたまりやすくなります。配管経路によってエアがたまりやすい場合は、適切な
位置に自動エア抜き弁を設置してください。

※ エアーたまり等で循環不良の原因となります。



5. 設置場所の選定

- 本体設置面に凹凸がなく、勾配のない場所を選んでください。
- 平地への据付の場合は、平地置台またはブロックの上に水平に据付けてください。
- 水没する可能性のある場所は避けてください。また、浴室など常時高い湿度に晒される場所や結露の懸念が多い場所への設置は避けてください。
- 本体の運転重量に十分耐えられる場所を選んでください。
- 騒音や振動が増大しない場所を選び、必要に応じて防振ゴムを使用してください。
- 発熱機器の近くは避けてください。
- ガスや悪臭の発生しない場所、ほこりや湿気の少ない場所を選んでください。
- 機器のメンテナンススペース(保守点検・アフター)の確保をしてください。
- 人の通行に支障のない場所を選んでください。
- D 種接地工事(アース)を必ず行ってください。
- 現地調査の段階で、電源の有無を確認してください。
- 降雪地域へ取りつける場合は、雪が積もらない場所へ設置してください。
- 排水されたドレン水が流れても問題のない場所を選んでください。



【本体寸法】

KJO-800AH-B	850W × 300D × 800H
KJO-2000AH-B	995W × 410D × 830H
KJO-2000AEX-B	969W × 550D × 828H
KJO-3500AH(EX)-B	1422W × 520D × 825H
KJO-5500AH(EX)-B	1510W × 580D × 840H

6. 本体据付工事

① 基礎工事

【基礎寸法】

機 種	A	B	全重量(水有り)
KJO-800AH-B	735 以上	300 以上	94kg
KJO-2000AH-B	870 以上	670 以上	131kg
KJO-2000AEX-B	870 以上	810 以上	136kg
KJO-3500AH-B	1200 以上	800 以上	179kg
KJO-3500AEX-B	1200 以上	800 以上	184kg
KJO-5500AH-B	1365 以上	830 以上	212kg
KJO-5500AEX-B	1365 以上	860 以上	221kg

※ 基礎の厚さは100mm～150mmとしてください。

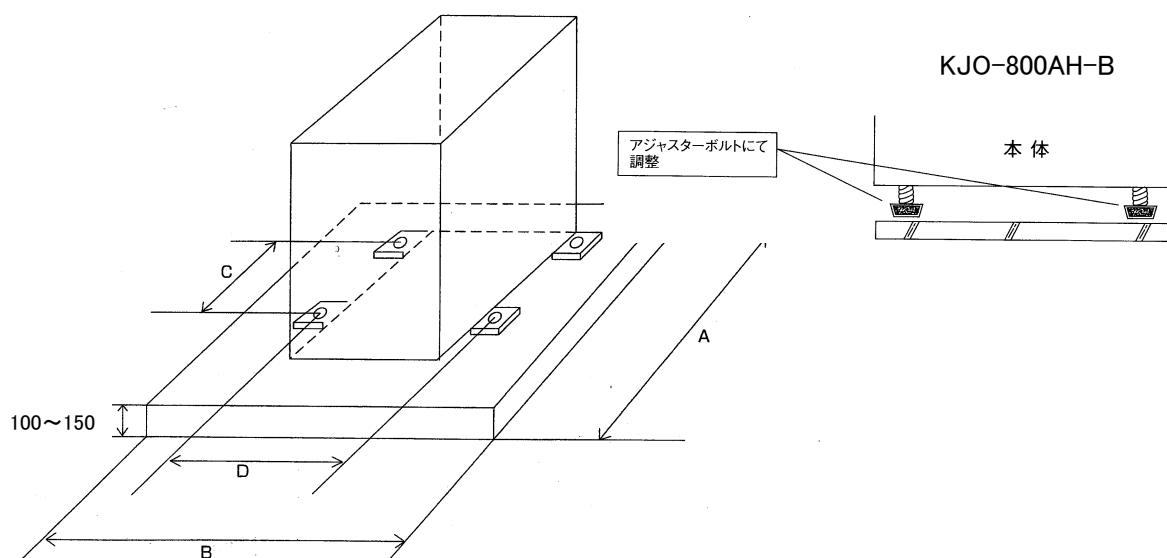
※ スライドブロックでも対応可能です。(KJO-800AH-B のみ)

② アンカー位置寸法

【アンカー寸法】

機 種	C	D
KJO-800AH-B	—	—
KJO-2000AH-B	455	470
KJO-2000AEX-B	456	611
KJO-3500AH(EX)-B	775	600
KJO-5500AH(EX)-B	845	660

※ アンカーボルトは M12を使用してください。

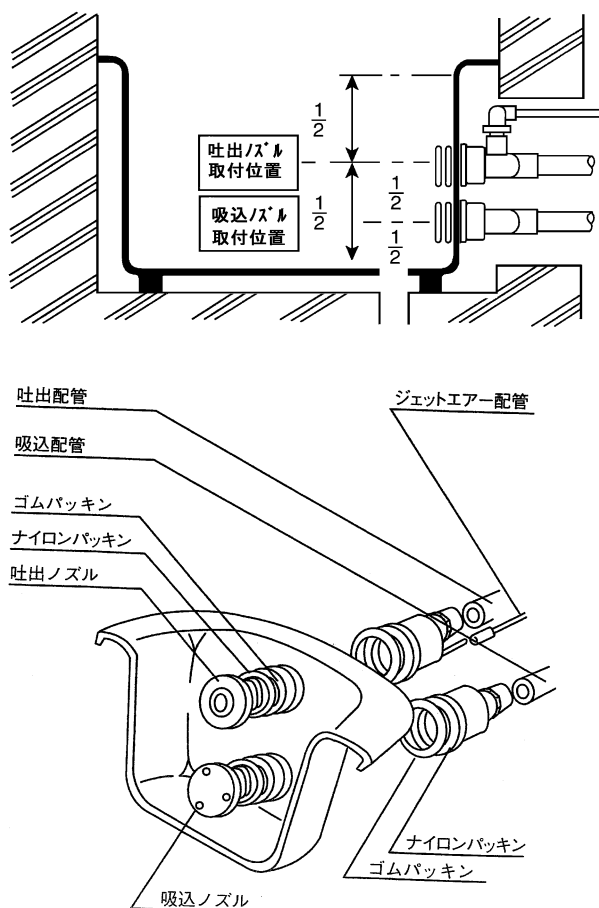


7. ノズル取付工事

ノズル取り付け 《 オプション A 》

- ① 浴槽のノズル開口位置の寸法出しを行い、50φの穴を開けてください。
 - ② 浴槽の穴位置から、配管貫通部分となる外壁を開口してください。(約200mm×200mm)
- ※ 給排水・ガス管・電線管など障害物が開口部に通っている場合がありますので、注意してください。
- ※ ノズルの取り付け面(穴あけ場所)は、なるべく平面を選んでください。曲面だとパッキンが効かず、水漏れの原因となります。
- ③ 右図に従い、ノズルを浴槽の外側から押さえて固定し、内側からしっかりねじ込んでください。
 - ④ ノズルに循環配管、ジェット用配管をそれぞれ接続し、外壁の開口部より取り出してください。
- ※ 浴槽のノズル(パッキン)がある部分は、浴槽の断熱材をきれいにはがしてください。パッキンの部分より水が漏れる可能性が有ります。
- ※ 配管貫通部分の外壁開口部は、ステンレス板などで養生し、点検口として残してください。
- また、内部に雨水などが浸入しないように防水処理してください。
- ※ ノズル取り付け後、付属のノズルカバーを取り付けてください。取り付け方法は、ノズルカバーに同梱しています。

(FRP、ステンレス、ホーロー浴槽の場合)

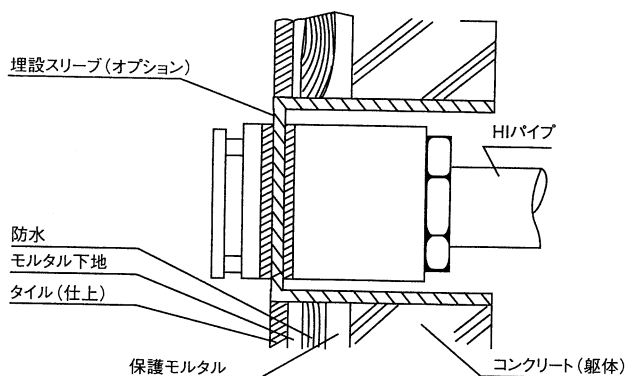


埋設スリーブ 《 オプション B 》

(新設タイル浴槽の場合)

(浴槽の防水工事による取り付け)

- タイル浴槽の場合、あらかじめ埋設スリーブをコンクリート打ち込み前に取り付けておきます。
- 埋設スリーブに防水仕上、タイルは仕上後、ノズル取り付けを行います。

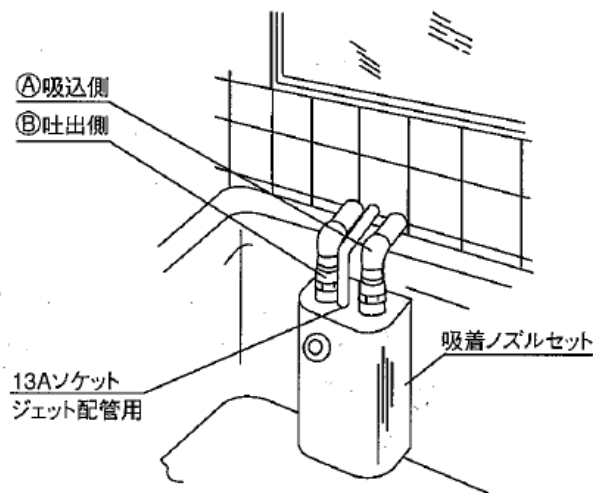


吸着ノズルセット 《 オプション C 》

（既設タイル浴槽の場合）

- 浴槽に穴を開けられない場合は、オプションの吸着ノズルセットで配管を行ってください。
- ジェット配管は13Aバルブソケットが取り付けられていますので、13AVPパイプを使用し配管してください。

機種 口径	㊦ 吸込	㊧ 吐出	個数
KJO-800AH-B	32A	25A	1
KJO-2000AH(EX)-B			2
KJO-3500AH(EX)-B			3
KJO-5500AH(EX)-B			4

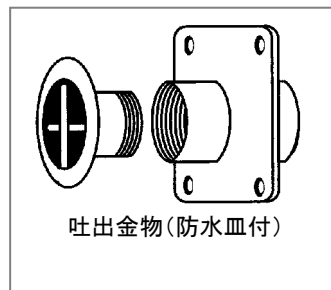


循環金物の選定 《 オプション D 》

（新設タイル浴槽の場合）

- 下記に従い、循環金物を選定し取り付けをお願いします。
- 浴槽によって循環金物の仕様、取り付け方法が異なりますので、ご注意願います。
- ※ タイル浴槽、石張り浴槽の場合は防水金物を循環金物の口径、個数とあわせて用意してください。

機種	吐 出		吸 込	
	口 径	個 数	口 径	個 数
KJO-800AH	25A	2	32A	2
KJO-2000AH(EX)-B	25A	2	32A	2
KJO-3500AH(EX)-B	32A	2	40A	2
KJO-5500AH(EX)-B	32A	4	50A	2



※木製浴槽の場合はご相談ください。

8. 配管工事・保温工事

設置工事上の注意

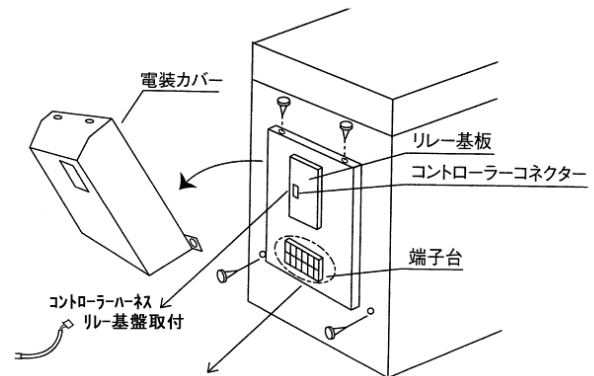
※P17～23 の基本系統図を参照下さい。フロー図、配管口径の通り配管を施工してください。

- * 本体配管接続口は塩ビ製のソケット(KJO-800AH-B、2000AH(EX)-B、KJO-3500AH(EX)-B、KJO-5500AH(EX)-B)になっています。熱交換器(EX)仕様の熱源配管は SUS オネジになっています。詳細は P1～7 の外形寸法図に記載あります。
- * 循環配管は HIVP を使用し、本体接続部分にメンテナンス用のボールバルブを本体近くに必ず取り付けてください。【吸込・吐出口両方】
- * 熱源配管には圧力計、温度計を取り付けるように配慮してください。
- * 熱源配管入口と出口を間違えないように気をつけてください。
- * 吐出口は規定個数を使用し、トーナメント配管してください。
- * 本体排水用バルブを必ず設置してください。
- * 保温工事は、試運転・水漏れ確認完了後に行ってください
- * 凍結の恐れがある場合、凍結防止ヒーター等を用い、凍結対策を行ってください。
- * 薬注器を取り付ける際は、薬注器本体と注入口の距離を3m以内程度としてください。
- * 薬注装置の接続について水栓ソケット(メタル無し)を使用してください。
- * 薬注装置の接続時に、サイホン止めチャッキ弁(注入弁)先端に付いているゴムキャップは外さないでください。
- * 吸込配管の浴槽に近い位置へ逆止弁(チャッキ弁)を取り付けてください。(メンテナンスが可能な位置へ取り付けてください。)浴槽近くに設置できない場合は、浴槽水面よりも低い位置へ設置してください。(本体が浴槽底部よりも高い場合、落水して水切れセンサーにより運転停止します。)
- * ヘアキャッチャーを取り付ける際は、手前にバルブを取り付けてください。
- * 長期間停止した際、配管上に死水が出来ないように配慮してください。
- * オゾン殺菌時(毎時 10 分間)にオゾンエアーが発生するため、吐出配管にエアーがたまりやすくなります。配管経路によってエアーがたまりやすい場合は、適切な位置に自動エアー抜き弁を設置してください。

9. 電源工事

本体との接続配線

1. 電装カバーを外します。
 2. 電装部の各端子台の名称に沿って接続してください。
- ※ 電源ケーブルとコントローラーハーネス（シールド付）は、現地手配願います。
- ※ 電源ケーブルとコントローラーハーネス（シールド付）は、一緒に束ねないでください。



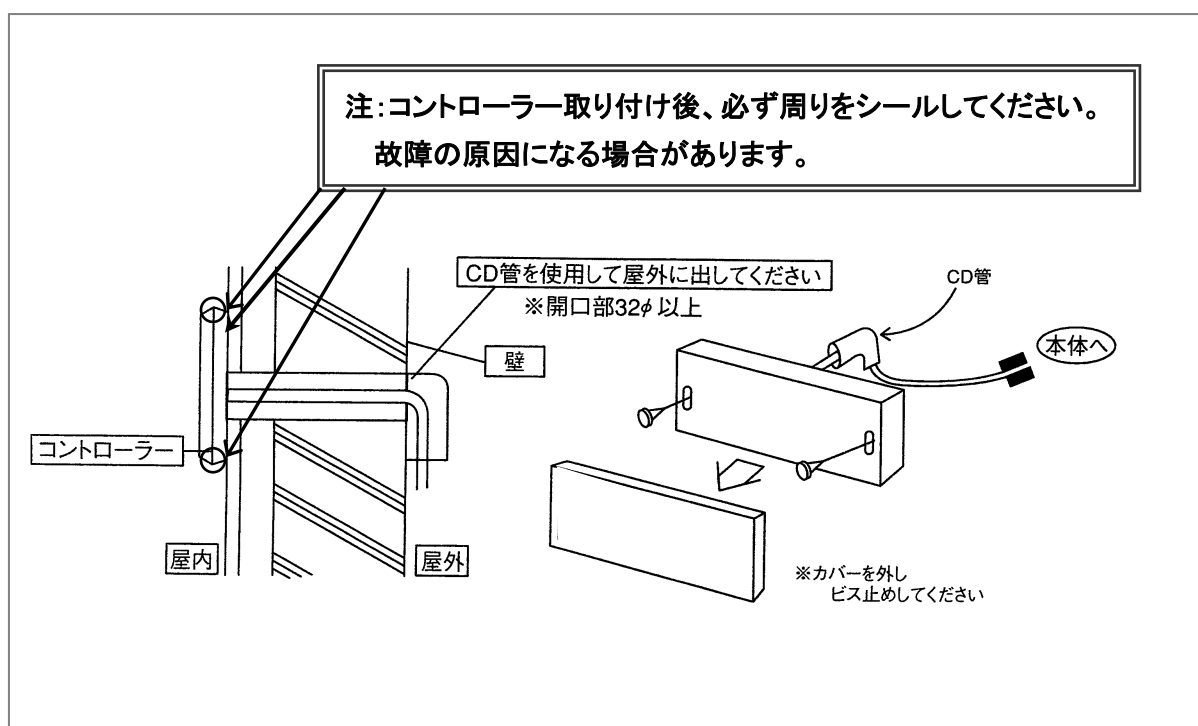
薬注		コントローラー		200V			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧

- ①②……… 薬液ユニットに接続します。（電圧は200Vです。）
- ③④……… コントローラー接続（シールド線は電装 BOX 内のアースに接続してください）
- ⑤⑥⑦……… 一次側3φ200V
- ⑧……… アース

10. コントローラー取付工事

コントローラー取り付け

- コントローラーの取り付けは、操作のしやすいところ、直接水のかからない場所に、お客様と打合わせの上、取り付けしてください。



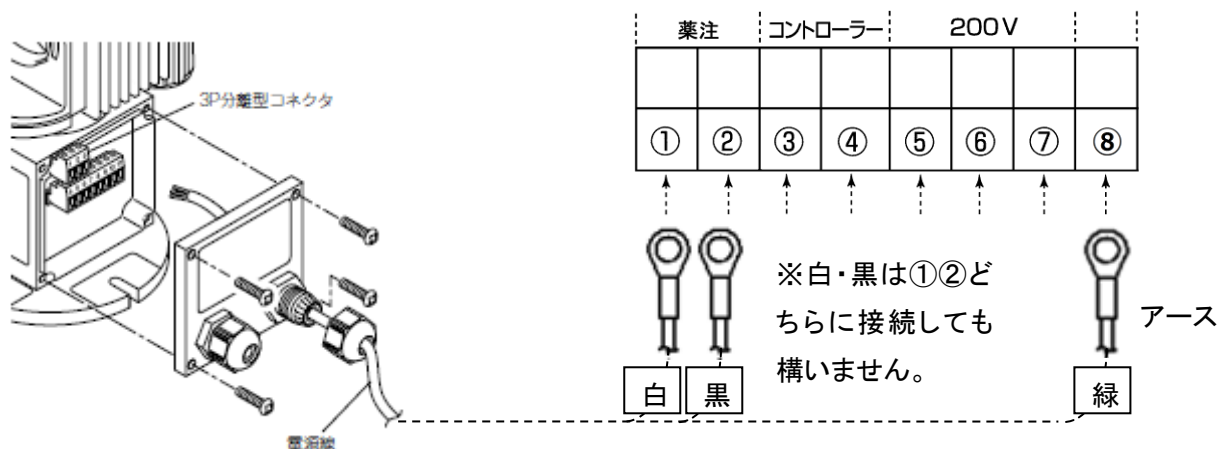
11. 薬注ユニット取付工事

基本系統図 P17～23 を参照の上、適切な接続を行ってください。

①電源接続

薬注ユニットから電源コードをろ過装置端子台に接続してください。

あらかじめ、電源コードが接続されていますが、長さが不足している場合は延長してください。



②サイホン止めチャッキ弁、チューブ接続

○主配管上(基本系統図記載の位置)に**異径チーズ+水栓ソケット**で注入点を設けてください。

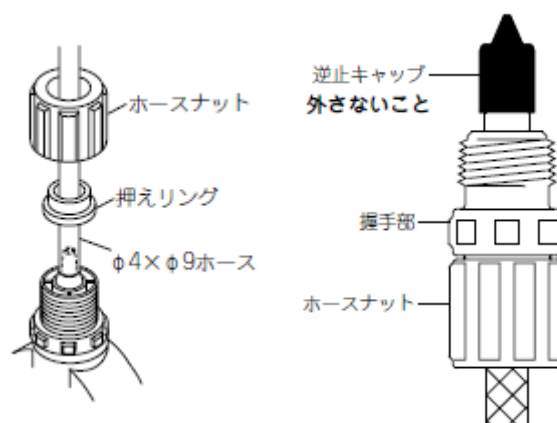
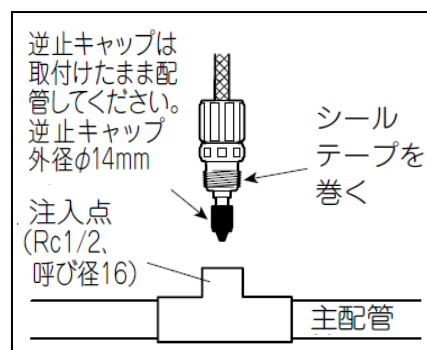
※注入点は**メタル無し**を使用してください。

○サイホン止めチャッキ弁のオネジ部分にシールテープを巻き、注入点にねじ込んで取り付けてください。

○ホースは抜けないように差し込み、ホースナットを締めて固定してください。工具等で過大な締め付けをしないでください。破損の原因になります。

○サイホン止めチャッキ弁先端の逆止キャップは取り外さないで使用してください。

○ホースは薬注ポンプにより脈動するため、固定してください。折れ曲がったりしないように十分に余裕をもたせてください。



商品の確認

荷ほどきされましたら、まず以下の点についてご確認ください。

(1)ご注文どおりの製品ですか？

(2)付属品は間違いなくついていますか？

下記の付属品リストにしたがって付属品の確認を行ってください。

(3)輸送中の振動や衝撃でいたんでいませんか？

(4)ねじ類がゆるんだり、はずれたりしていませんか？

細心の注意を払って出荷しておりますが、万一お気付きの点がございましたら、販売店または当社までお知らせください。

●付属品リスト

吸込側ホース	取付済
アンカー固定用平座金 (PTS-50、120のみ)	4個
インシュロック	1本
薬液名シール	1枚
取扱説明書	1部
搭載ポンプ付属品*1	1セット

*1 搭載ポンプの取扱説明書を参照ください。
ただし、フート弁、ストレーナは付属しません。

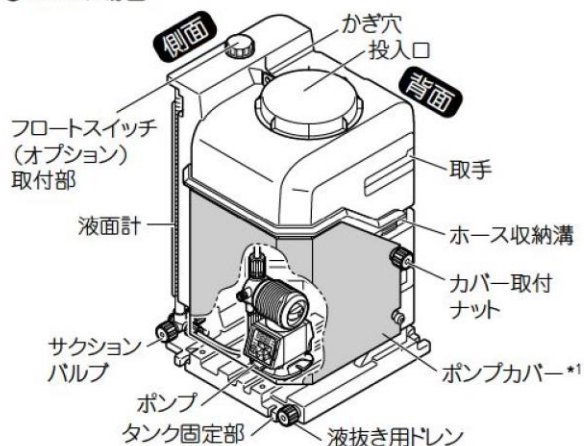
* □PW、□PWT、PZDを搭載する場合は、信号ケーブルを別途お求めください。
□PWM、PZDP、PZDM、PZiを搭載する場合は、信号ケーブルが付属します。

お願い

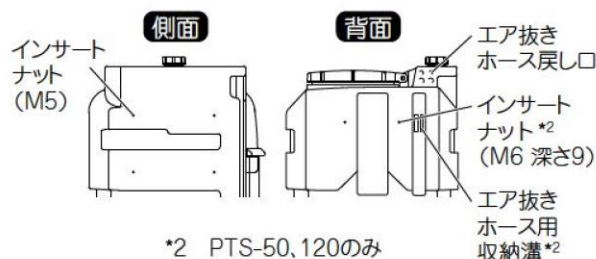
- 薬液名シールを注入する薬液に応じてお選びいただき、見やすい位置に貼ってください。

各部の説明

●50Lの場合



*1 DCLPWシリーズ2台載りの場合はポンプカバーが付属しません。



*2 PTS-50、120のみ

* インサートナットの耐荷重は重心位置がタンクから100mmの場合、30L：3kg、50L：7kg、120L：15kg。

据え付け



注意

※基礎はタンク底部を全面支持とし、水平な場所に設置してください。

- 直射日光や紫外線により変色や劣化しますので、日よけなどを設置してください。
- 水平な場所に振動しないように固定してください。傾けて取り付けたら吐出不良や吐出不能の原因となります。
- タンク本体を市販のオールアンカー (M8) など、固定してください。
液が少ないと不安定になり倒れることがあります。
- PTS-50、120を固定するときは、付属の平座金を使用し、締付トルク 10N・m 以内で締め付けてください。

●吐出側配管について

吐出側配管は、ホース収納溝に通してください。

●吸込側配管について

吸込側は配管された状態で出荷されています。各部にゆるみがないかどうか確認してください。

●水張りテストについて

配管終了後に水張りテストを行い、液漏れののないことを確認してください。液漏れした場合は、ねじ類の増し締めやシール部へのゴムの付着などをご確認ください。

* PW-200・PZD・PZiG は、タンク、ポンプが別梱包になっています。下記の手順でポンプをタンクに取り付けてください。

① サクションバルブからホースをホースユニオン、袋ナットごと外してください。

* この際ホースユニオンに付いているOリングを無くさないようご注意ください。

② ①で外したホースをポンプの吸込み側にしっかり取り付けてください。

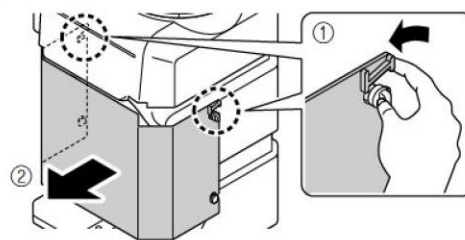
③ ポンプをタンクに付属しているM5×15ボルトで固定してください。

④ サクションバルブにホースを接続してください。

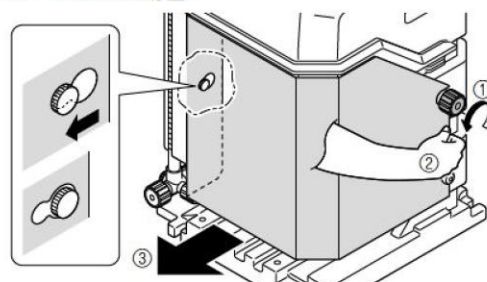
* ①で外したOリングを忘れずに取り付けてください。

ポンプカバーの取り外し

●30Lの場合



●50・120Lの場合



電気配線

PWシリーズとPTSをセットでご注文いただいた場合には、あらかじめ電源コードが接続されています。定量ポンプの取扱説明書に従って結線を行ってください。

結線時に、ポンプを取り外す必要がある場合は、「保守点検のポンプの取り外し」を参考にしてポンプを取り出してください。

運転



注意

ポンプの運転を始める前に以下のことを確認してください。

- 配管にゆるみや外れはないか。
- サクションバルブが開いているか。
- ポンプカバーが取り付けられているか。
- タンクに液が適切な量入っているか。

- (1) サクションバルブのつまみを左方向に回し、薬液をポンプ部に流れるようにしてください。
- (2) ポンプの運転は別冊のポンプの取扱説明書に従い、行ってください。

保守点検



注意

- ポンプを外したり、点検する場合はサクションバルブを閉め、配管内の圧力および薬液、液面計内の薬液を抜いた後に作業してください。圧力・薬液を抜かず作業すると薬液が噴出し危険です。

●点検箇所

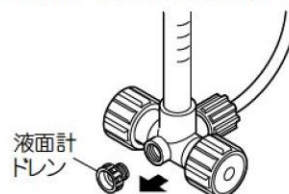
- (1) タンクの固定状況（アンカーボルト等）や、据付部の状況（基礎等）に異常がないか確認してください。
- (2) タンクのひび割れ、変色、変形などがいないか確認してください。
- (3) 薬液タンクの液量があることを確認し、不足している場合は補給してください。
- (4) タンク内に沈殿物がたまったり、液が白濁するなどの異常がないか確認し、もし液質の劣化があれば、タンク内を洗浄した後、新しい薬液と全量交換してください。
- (5) 配管ラインが外れたり、破損がないか点検してください。
- (6) 継手部などから液漏れがないかチェックし、もしあれば増し締めしてください。

●ポンプの取り外し

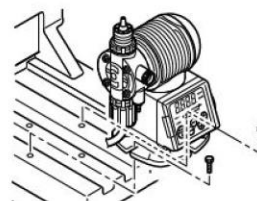
日常の点検はタンク部に組み込んだ状態でできるようになっています。

ポンプの取り外しが必要な場合は、以下のようにしてください。

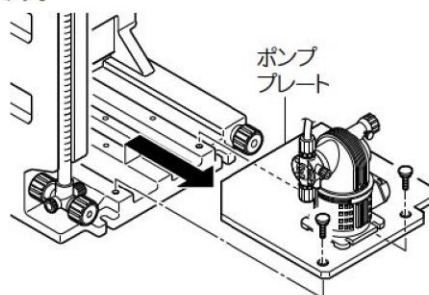
- ① サクションバルブを閉める。
- ② 液面計ドレンを外し、液面計の残液を抜く。



- ③ 吐出側配管内の圧力および薬液を抜いてから吐出側継手のホースナットをゆるめ、ホースを外す。
- ④ エア抜きホース内の液を抜き取り、ホースを外す。
- ⑤ 吸込側継手のホースナットをゆるめ、ホースを外す。
- ⑥ ポンプを固定している2本（機種によっては4本）のボルトを外す。



* ポンププレート付きの場合は、ポンププレートごと外すと便利です。



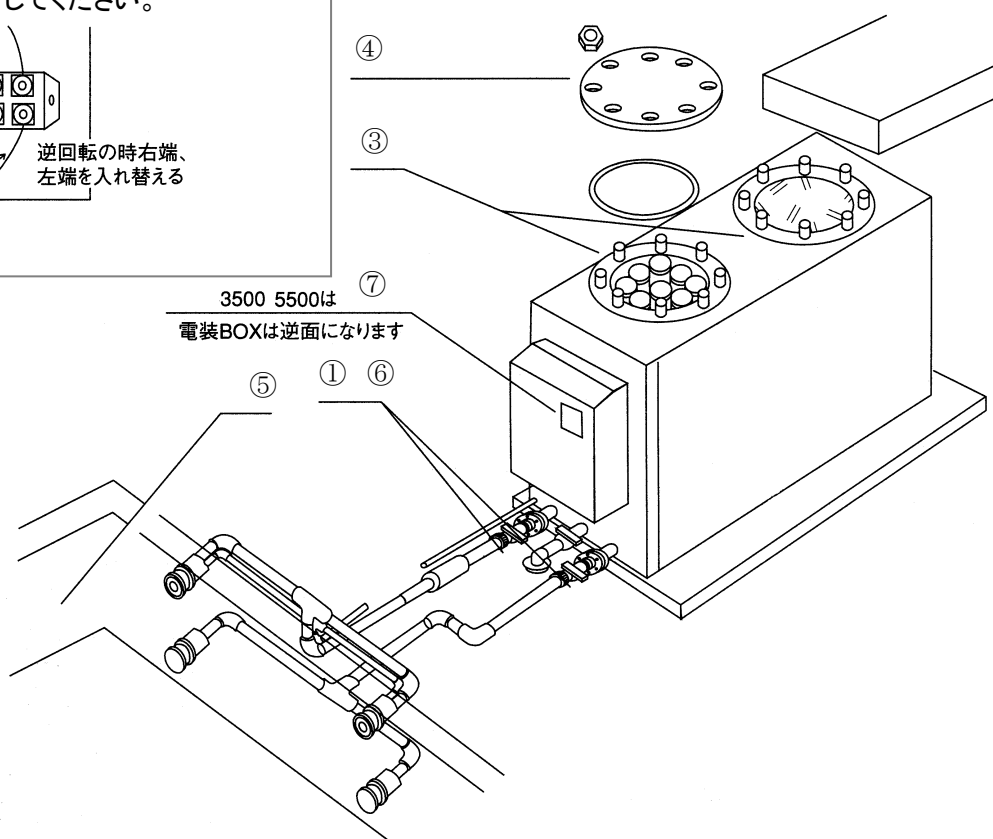
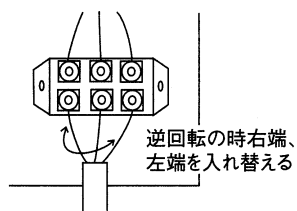
ポンプの取り付けは、上記の逆の手順で行ってください。

12. 試運転調整

- ① バルブが閉まっていることを確認してください。
 - ② 各端子部にゆるみがないか確認してください。
 - ③ 浴槽(タンク、ヘアキャッチャー含む)にお湯が張ってあることを確認してください。
 - ④ アクリル蓋、又はステンレス蓋を確実に固定してください。
 - ⑤ 浴槽にお湯が張ってあることを確認してください。
 - ⑥ バルブを開いてください。
 - ⑦ 本体ブレーカーをONにしてください。
 - ⑧ コントローラーの「電源ボタン」を「入」にして、操作を確認してください。(別紙、取扱説明書参照)
 - ⑨ ポンプの回転方向を確認してください。
(逆回転の場合は、端子台にて配線の入換をしてください。)
 - ⑩ 循環していることを確認してください。
 - ⑪ ポンプとヒーターの運転電流を確認してください。
 - ⑫ 水漏れ、エア吸いをしていないか確認してください。
- ※ 活性石はあらかじめネットごと洗い、②の活性石ケース内にネットごと入れてください。

※ 試運転時は必ずポンプの回転方向を確かめてください。

※ 逆回転の場合は、端子台にて配線の入換をしてください。



13. 試運転チェックシート

試運転チェックリスト

当てはまる項目に「○」をつけ、確認を行なってください。

1	循環はしているか	良	不
2	ジェットは出ているか(オプション)	良	不
3	ヒーターは作動しているか(昇温するか)	良	不
4	タイマーがセットできるか	良	不
5	コントローラーの表示温度と実温は合っているか	良	不
6	配管からのエア吸いはないか	良	不
7	配管からの水漏れは無いか	良	不
8	漏電ブレーカーは正常に作動するか	良	不
9	その他、機械本体に異常な箇所は無いか	良	不
10	オゾンの気泡は発生しているか	良	不

※ 1～4 の詳しくは別紙、取扱説明書のコントローラー操作方法を参照し、確実に行ってください。

※ 6・7・10 は目視にて確認してください。(保温工事は試運転調整後に行ってください。)

※ 異常があった場合は、弊社までご連絡ください。



■本社

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-665-7733

■営業

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-653-2641

■技術

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-668-1126